



脊椎関節固定インプラント相互連結機構の静的および疲労強度測定

脊椎インプラントの相互連結強度ならびに部品の緩み耐性を測定します。

測定技術の概要

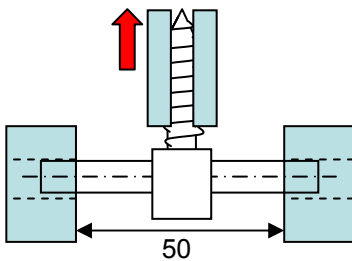
メーカーの指示に従い組み合わせられた脊椎連結部品(フック、ネジ、バンドなど)と縦方向の元素(ロッド、プレート)に対して、脊椎インプラント構造の静的試験および疲労試験を実施します。

【試験概要】

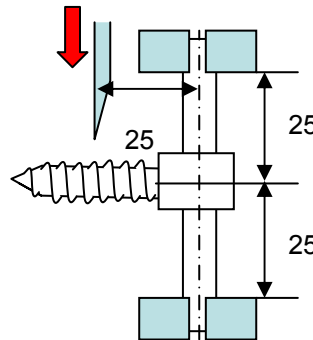
対応する規格	ASTM F1798
試験環境	恒温、恒湿、大気中
試験方法	圧縮試験、曲げ試験、ねじり試験
最大荷重	3kN、10N・m
最大繰返し周波数	16Hz
最大繰返し数	250万回

各種連結強度測定方法

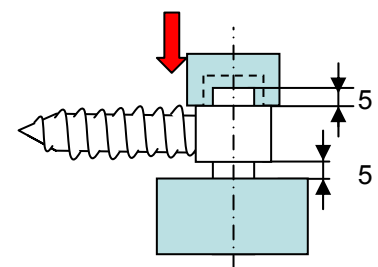
①A-P試験



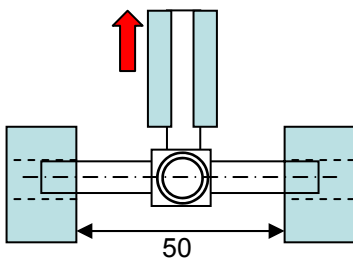
③屈曲・伸展モーメント試験



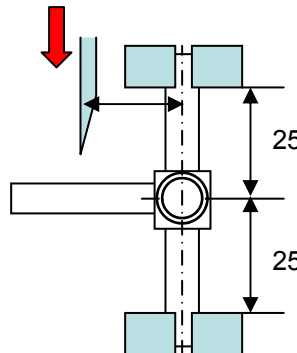
⑤軸方向グリップ能力試験



②横方向試験



④横方向モーメント試験



⑥軸トルク測定試験

